

津久井総合事務所周辺 公共施設再整備に向けた市民検討会

第1回「目標を共有しよう！」

令和4年9月3日

津久井総合事務所3階 会議室1・2

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力

- マスクの着用の徹底



- 会場内に用意している消毒液によるこまめな消毒



- ご発言の際にマスクを外さないでください。
- 参加後、3日以内に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

本日のプログラム

本日のプログラム

14：00～14：15	あいさつ ・主催者＆参加者のあいさつ
14：15～14：45	市からの説明 ・これまでの取組、市民検討会の目的等
14：45～15：00	昨年度の市民対話WS成果発表
15：00～15：15	大学生からの発表
15：15～15：50	グループワーク（35分） ・新しい施設をイメージしてみよう
15：50～16：00	休憩
16：00～16：15	発表・意見交換 ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換
16：15～16：25	第1回市民検討会のまとめ ・有識者からの講評
16：25～16：30	連絡事項 ・次回の内容、事務連絡

あいさつ、自己紹介

自己紹介～お互いのことを知ろう～

1. 所属とお名前

2. 最近のマイブーム



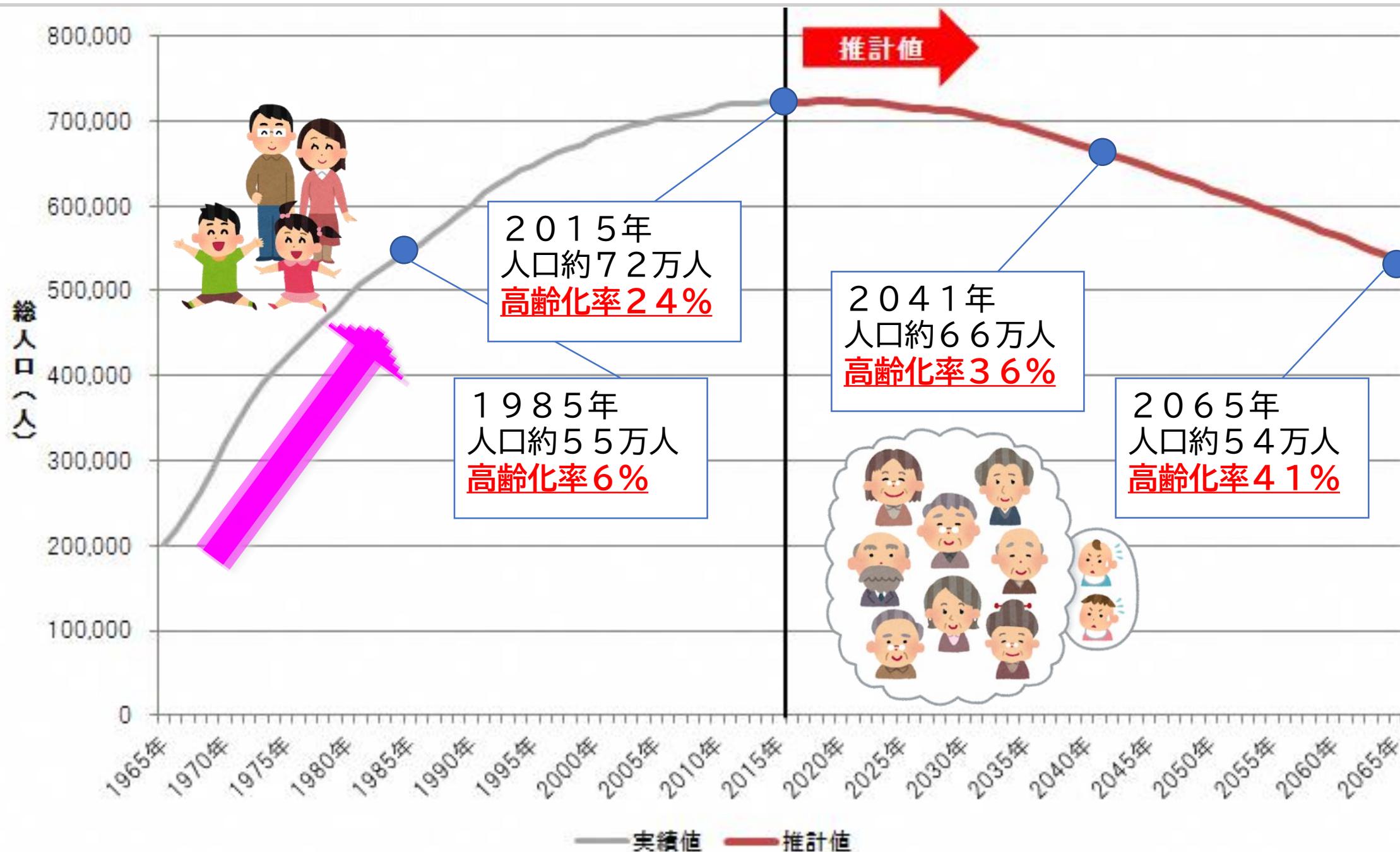
目標 一人20秒以内

市からの説明

相模原市における 公共施設マネジメントの取組

人口減少、少子高齢化が進みます

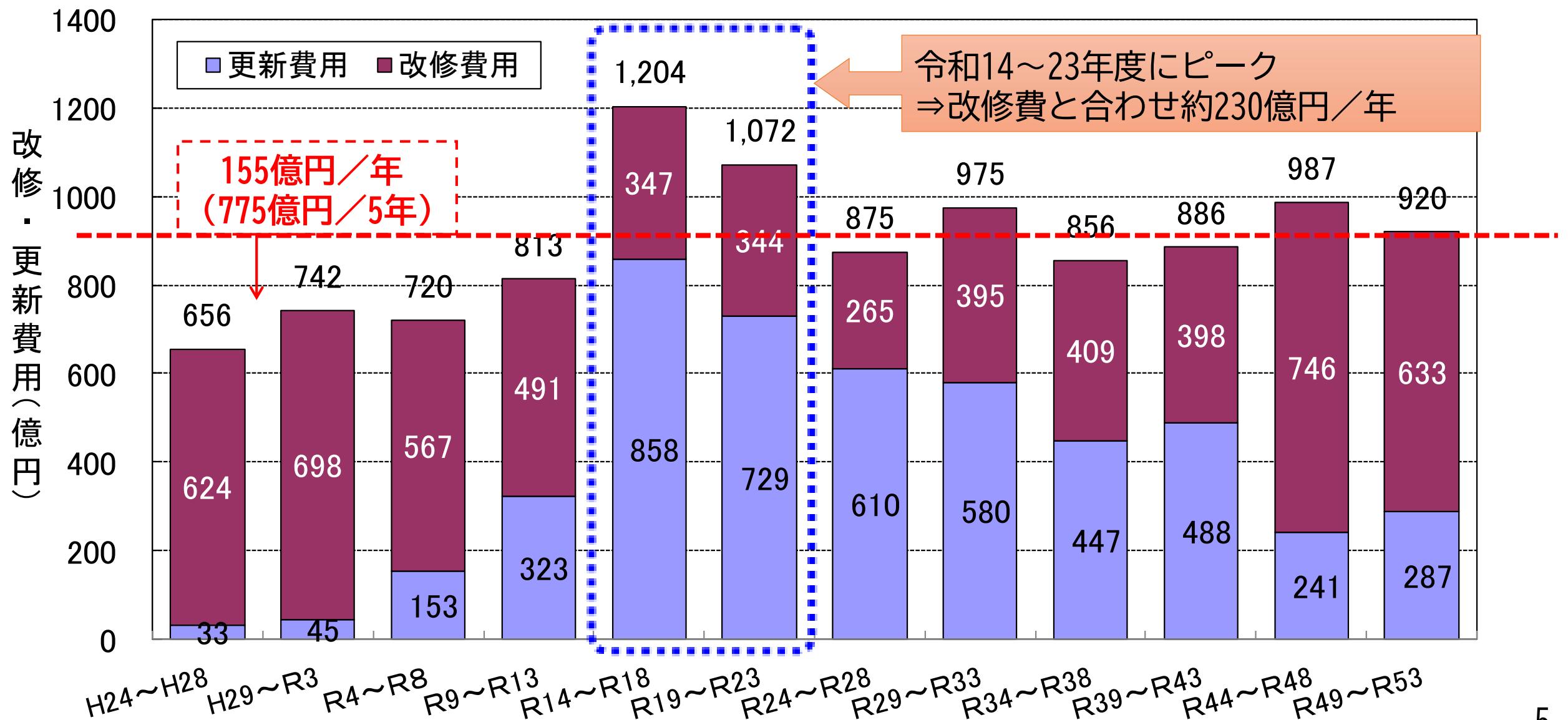
- 相模原市の人口は、約73万人をピークに人口減少に転じ、2065年には、現在の3/4まで減少するとともに、高齢化率は40%を超えると予想しています。
- 人口構成では、年少人口が減少し、高齢化率が高くなっていきます。



出典：2015年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計（平成30年3月）

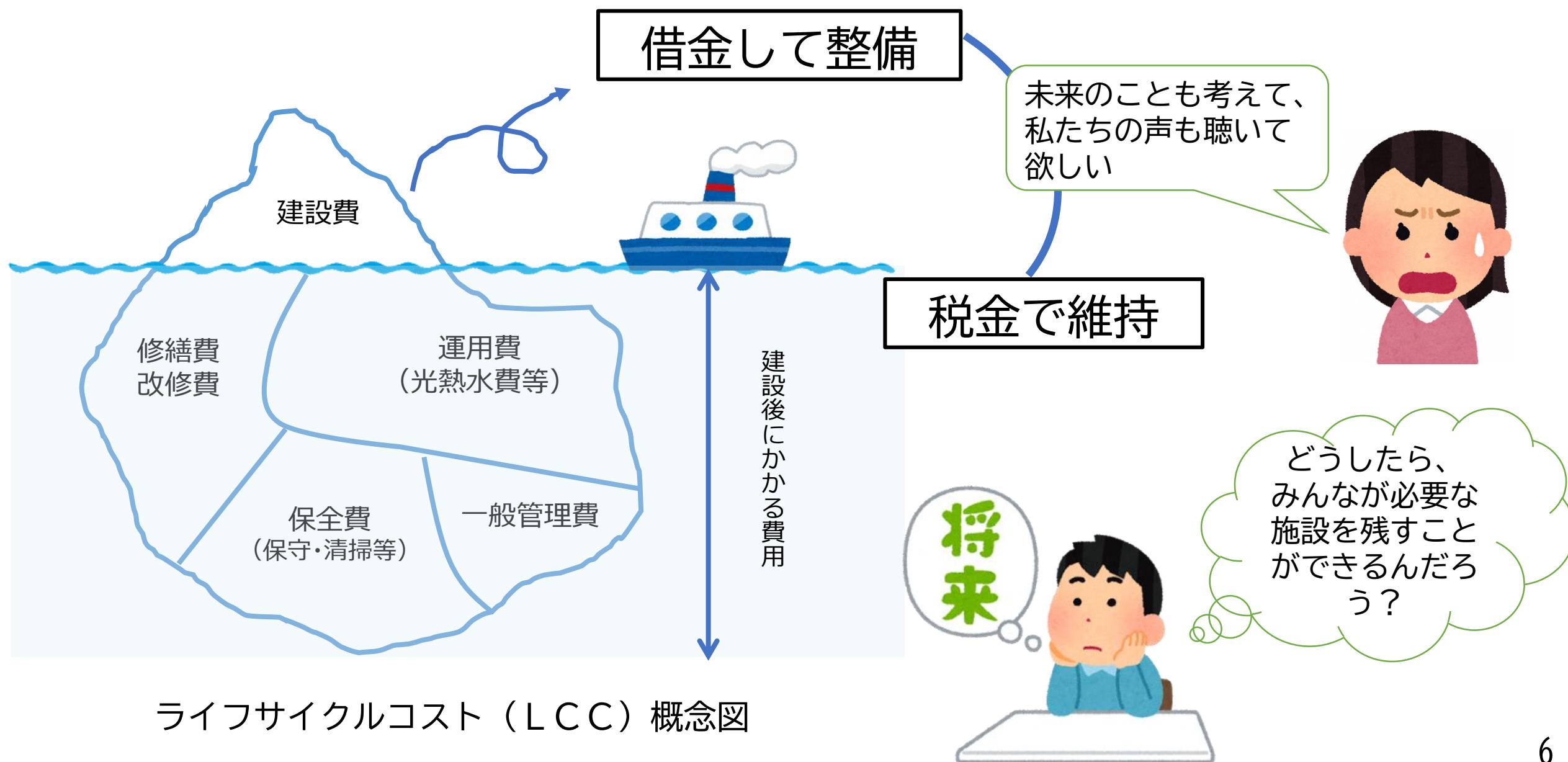
今ある施設をそのまま維持することが困難に

- 昭和40年代から50年代の人口急増期に整備してきた学校などの多くの公共施設の老朽化が進み、今後、一斉にこれらの施設の改修・建替え時期を迎えます。
- これまでの実績から、今後の改修・更新に充てられる費用を、最大155億円／年（775億円／5年）と仮定した場合、ピーク時には施設の6割程度しか改修・更新ができません。



公共施設は市民みんなの税金で維持する大切な資産

- 公共施設は、必要な行政サービスを提供し、また、市民の皆さんが活動するために、税金を使って維持しています。
- 将来にわたり真に必要な公共サービスを提供していくため、施設のあり方や使い方を見直しながら、次の世代に引き継いでいく必要があります。



ライフサイクルコスト（LCC）概念図

相模原市の公共施設マネジメントの方針

➤ 相模原市では、公共施設マネジメントの基本方針に基づき、保有している資産（土地・建物）を有効活用し、「施設総量の削減」、「建物の長寿命化」、「民間活力の活用」を組み合わせながら、公共施設マネジメントの取組を進めていきます。

公共施設マネジメントの基本方針

方針1 サービス・機能の必要性に応じたサービス提供の適正化

方針2 サービス提供に利用する施設（建物）の適正化

方針3 建物を長期にわたり安全で快適な状態に維持し、将来コストの平準化を図るための適切な予防保全の実施

方針4 民間委託等の適切な手法を活用した、効率的・効果的な管理運営

方針5 受益と負担の適正化、市民や地域との協働の推進

方針6 市民の便益向上や収益確保を図るための未利用資産の活用

方針7 専管組織の設置など、全庁的・総合的な視点から公共施設マネジメントを実施するための環境整備

コスト削減方策

施設総量の削減

サービスの提供方法の見直し、人口減少に応じた延床面積の削減、集約・複合化による延床面積の削減

建物の長寿命化

改修サイクルの見直しによる効率化・負担の平準化

民間活力の活用等

PPP/PFI等による整備費・管理運営費の削減

延床面積の削減目標

30年間で20%の延床面積を削減

新規施設は、原則つくらない

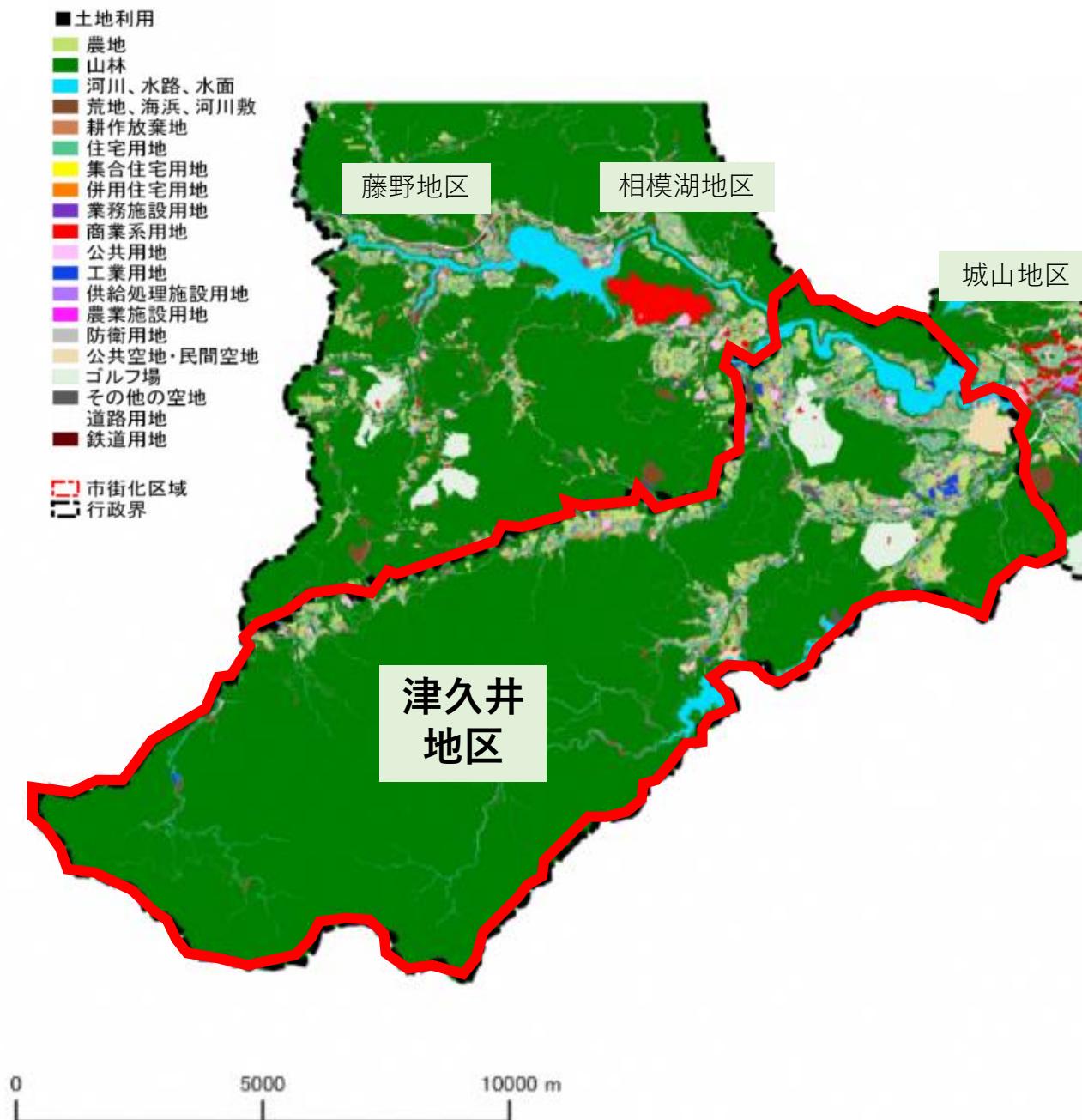
学校の改修・更新の際は、複合化等を検討

これらを組み合わせ、4割相当のコスト削減を目指します。

津久井総合事務所周辺
公共施設再整備に向けた
これまでの取組

津久井地区の地勢・特色

- 津久井地区は、旧津久井郡津久井町をまちづくり区域としており、面積は122.04平方キロメートルと22地区の中で、最も面積の広い地区です。
- 国道413号などの沿道を中心に生活拠点が形成されています。
- 神奈川県の水源地としての津久井湖及び宮ヶ瀬湖、また、道志川やそれらを支える広大な水源林などの豊かな自然を有する自然環境に恵まれた地域です。



宮ヶ瀬湖

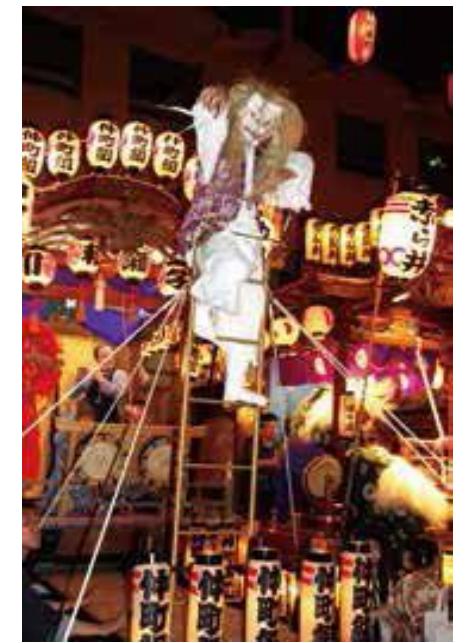


尾崎号堂記念館



青根緑の休暇村
キャンプ場

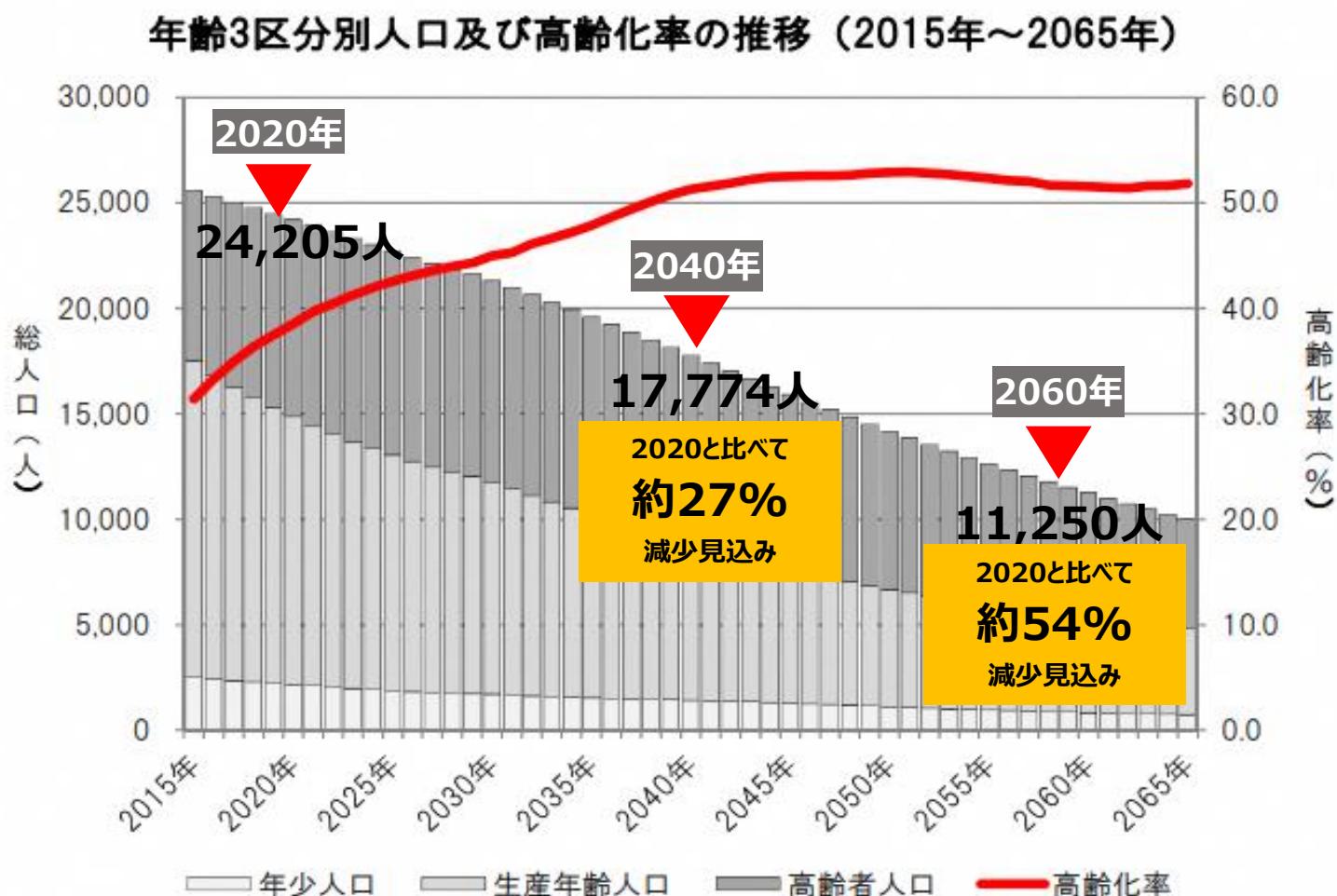
青根緑の休暇村いやしの湯



つくい中野夏祭り

津久井地区の人口

- 津久井地区の人口は、2020年（令和2年）時点では24,205人ですが、20年後の2040年には約27%減、40年後の2060年には約54%減少の11,250人になる予測です。
- 年齢3区分別に見ると、年少人口及び生産年齢人口は、今後一貫して減少見込みで、近年は、少子化による教育環境の維持が難しくなりつつある状況です。
- 高齢者人口のピークは2025年の9,670人、高齢化率は2038年に50%を超える見込みであり、医療・介護など高齢化社会への対応が求められています。



「青和学園」に移行による
青野原小学校・中学校小
中合同卒業証書授与式



閉校した青根中学校

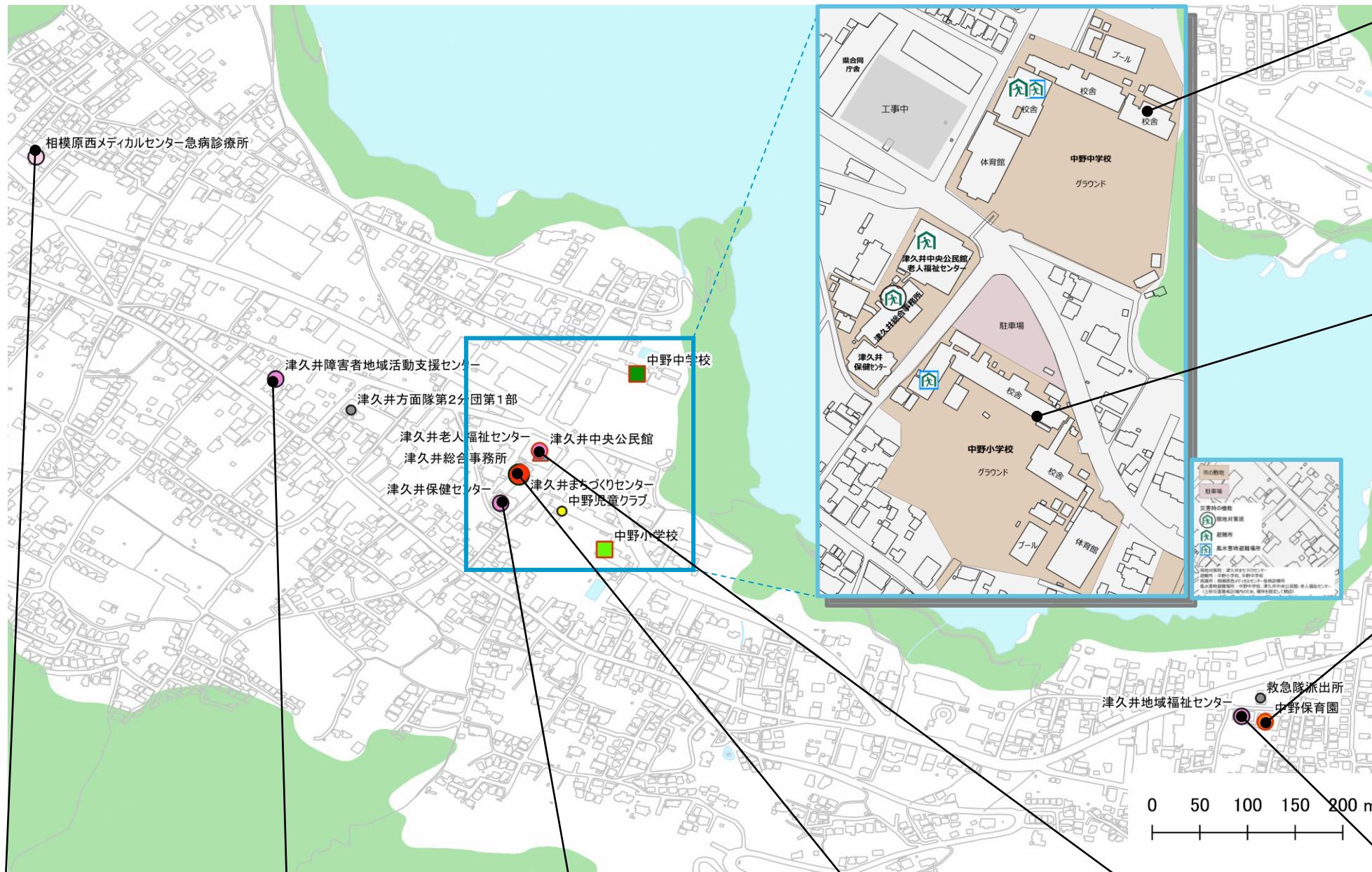


相模原西メディカルセン
ター急病診療所



青野原診療所

津久井総合事務所周辺の公共施設の状況



築51年
中野中学校
 建築年度：S45-S63
 延床面積：7,784㎡



築49年
中野小学校
 建築年度：S47-H23
 延床面積：6,813㎡



築45年
中野保育園
 建築年度：S51
 延床面積：857㎡



築41年 ★
**相模原西メディカルセンター
 急病診療所**
 建築年度：S55
 延床面積：544㎡



築28年
**津久井障害者地域活動
 支援センター**
 建築年度：H5
 延床面積：230㎡



築34年 ★
津久井保健センター
 建築年度：S62
 延床面積：941㎡



築57年 ★
津久井総合事務所
 建築年度：S39-H18
 延床面積：2,334㎡



築40年 ★
**津久井中央公民館・
 津久井老人福祉センター**
 建築年度：S55
 延床面積：2,557㎡



築21年
津久井地域福祉センター
 建築年度：H12
 延床面積：236㎡

※建設年度は令和2年4月1日時点。築年数は、白字が築40年以上、黒字は築40年未満

★：相模原市行財政構造改革プランにおける本事業の検討対象候補施設

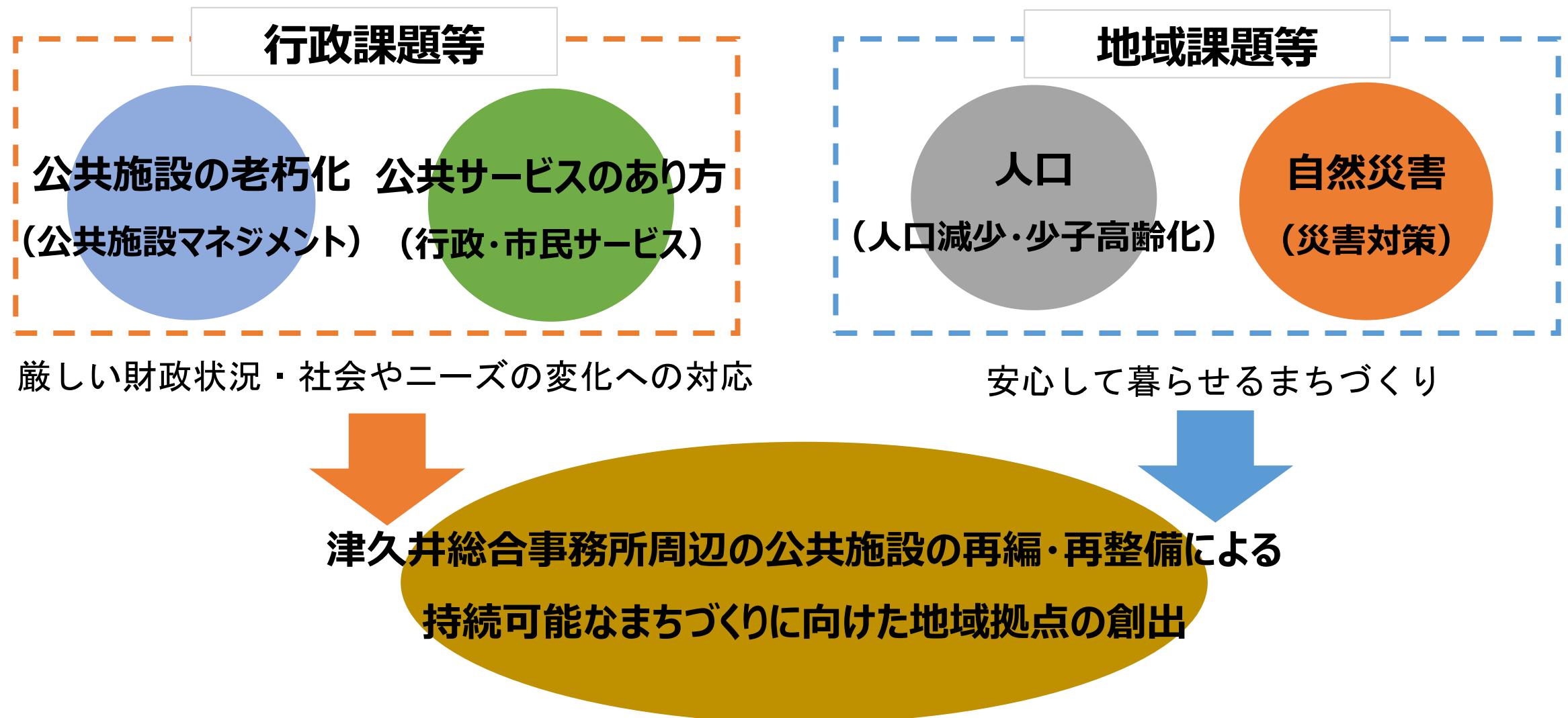
土砂災害警戒区域と各施設の配置状況

➤ 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）内に多くの施設が配置されています。施設の老朽化と合わせ、災害時における危険性も考える必要があります。



津久井総合事務所周辺公共施設再整備事業について

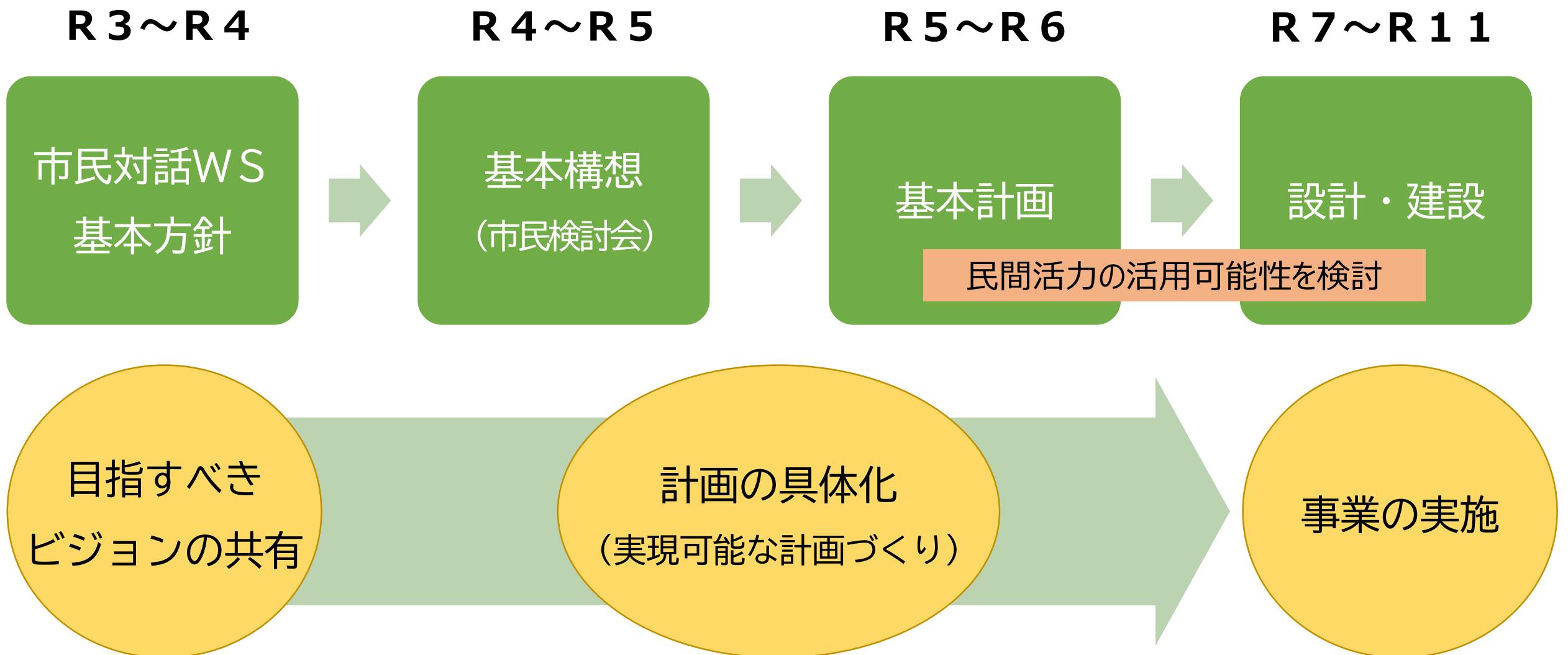
- 本事業は、老朽化による建替え時期を迎えている津久井総合事務所周辺の公共施設を含めた公共施設の再編・再整備を行うことで、津久井地区における地域拠点を創出し、持続可能なまちづくりの実現を目指すものです。



～限られた財源の中においても地域・民間・行政の創意工夫による魅力ある施設づくりを～

事業全体のスケジュール

- 施設の老朽化の状況を踏まえて、令和11年度の供用開始を目標とします。
- 令和3年度は「市民対話ワークショップ」を通じて目指すべきビジョンを共有しました。
- 市民対話ワークショップ等の意見を踏まえ、令和4年8月に「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本方針」を策定しました。
- 令和4年度以降は、基本構想の策定に向けた検討を行うなど、実現性を考慮しながら計画の具体化や実施内容の選択を行い、事業の実施へつなげていきます。



※今後の検討状況等により、スケジュールは変更となる場合があります。

市民対話ワークショップの実施（令和3年度）

ワークショップの体制

- 今回のワークショップは、地域団体や関連団体からの推薦のほか、津久井高等学校の生徒、施設利用者、一般公募など、様々な立場や世代の方に参加してもらいました。

参加者の構成（23）

津久井地区まちづくり会議（3）
 津久井地区自治会連合会（3）
 津久井商工会（1）
 津久井青年会議所（1）
 P T A 連絡協議会（1）
 地区社会福祉協議会（1）
 津久井高等学校（6）
 施設利用者・公募市民（7）

ファシリテーター

芝浦工業大学建築学部建築学科教授
 志村 秀明氏

テーブルファシリテーター

①芝浦工業大学 大学院生
 ②相模原市職員

運営事務局

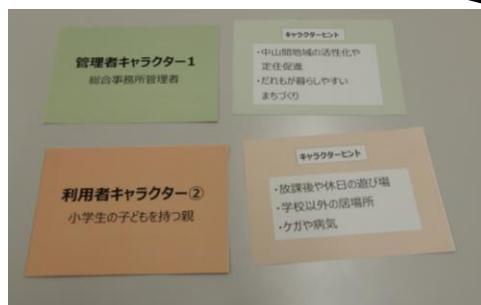
相模原市 経営監理課
 緑区役所区政策課
 津久井まちづくりセンター
 （支援）
 ファインコラボレート研究所

ワークショップの内容

- 全4回を開催し、参加者をA～Dの4グループ※に分け、グループワーク形式でワークを行いました。 ※第3回、第4回はA～Cの3グループに再編

津久井の魅力や公共施設への想いを描く

管理者と利用者の立場に分かれて、いろいろな視点で新しい公共施設のあり方を検討



開催日	実施内容
第1回 (10月2日)	今を知って、津久井地区を語ろう！
第2回 (10月30日)	施設を見て、“今”を深掘りしよう！
第3回 (11月20日)	再編のコンセプトを考えよう！
第4回 (12月18日)	提案のまとめ

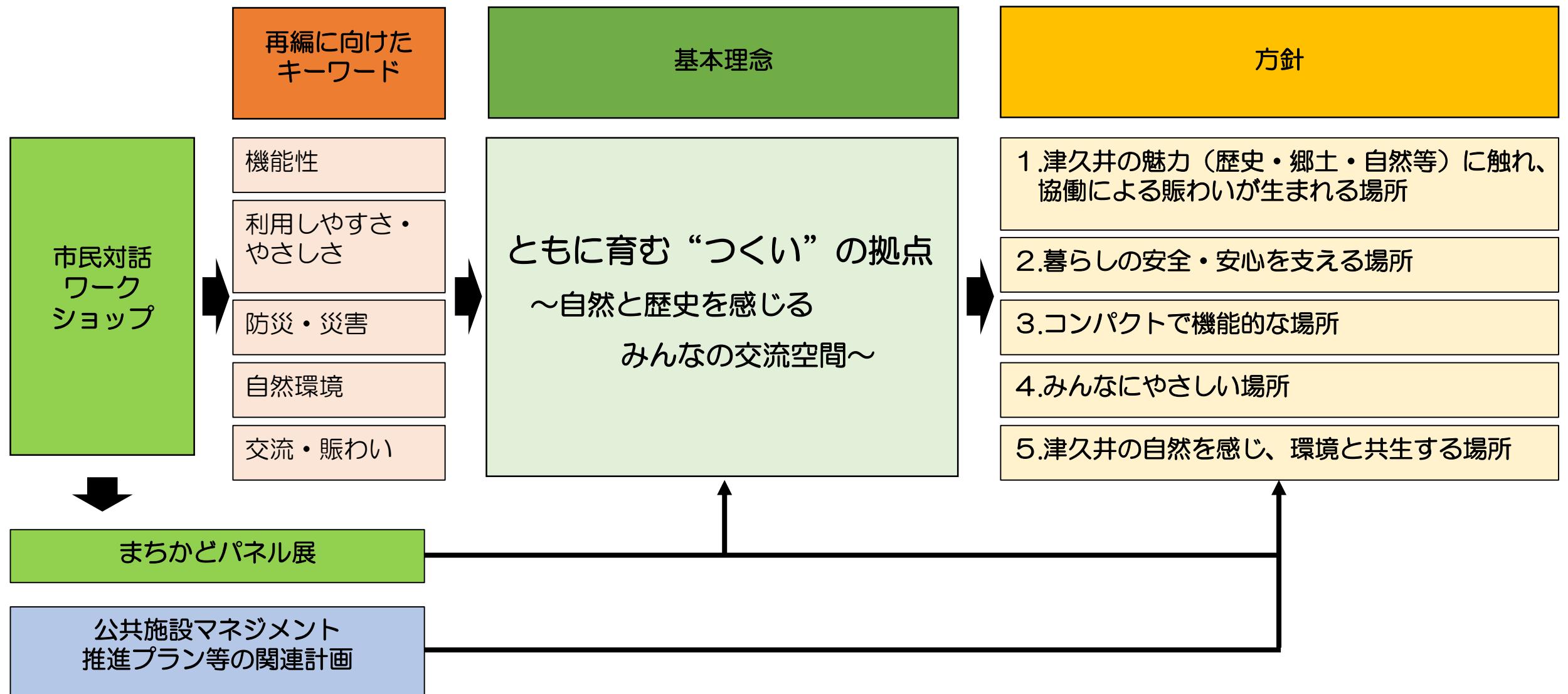
- 管理者と利用者の立場に分かれて施設見学とまちあるき
- 施設見学とまちあるきで気づいたことをまとめる

- 実現のために必要な取組を「施設（津久井総合事務所）をどうするか」「お金をどうするか」「自分たちにできること」の3つの視点ごとに考え、提案としてまとめる



津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本方針（R4. 8策定）

➤市民対話ワークショップの成果や、令和4年2月～3月に実施したパネル展におけるアンケート結果等を踏まえ、本事業の実現に向けた基本的な考え方として、基本理念と5つの方針をまとめました。

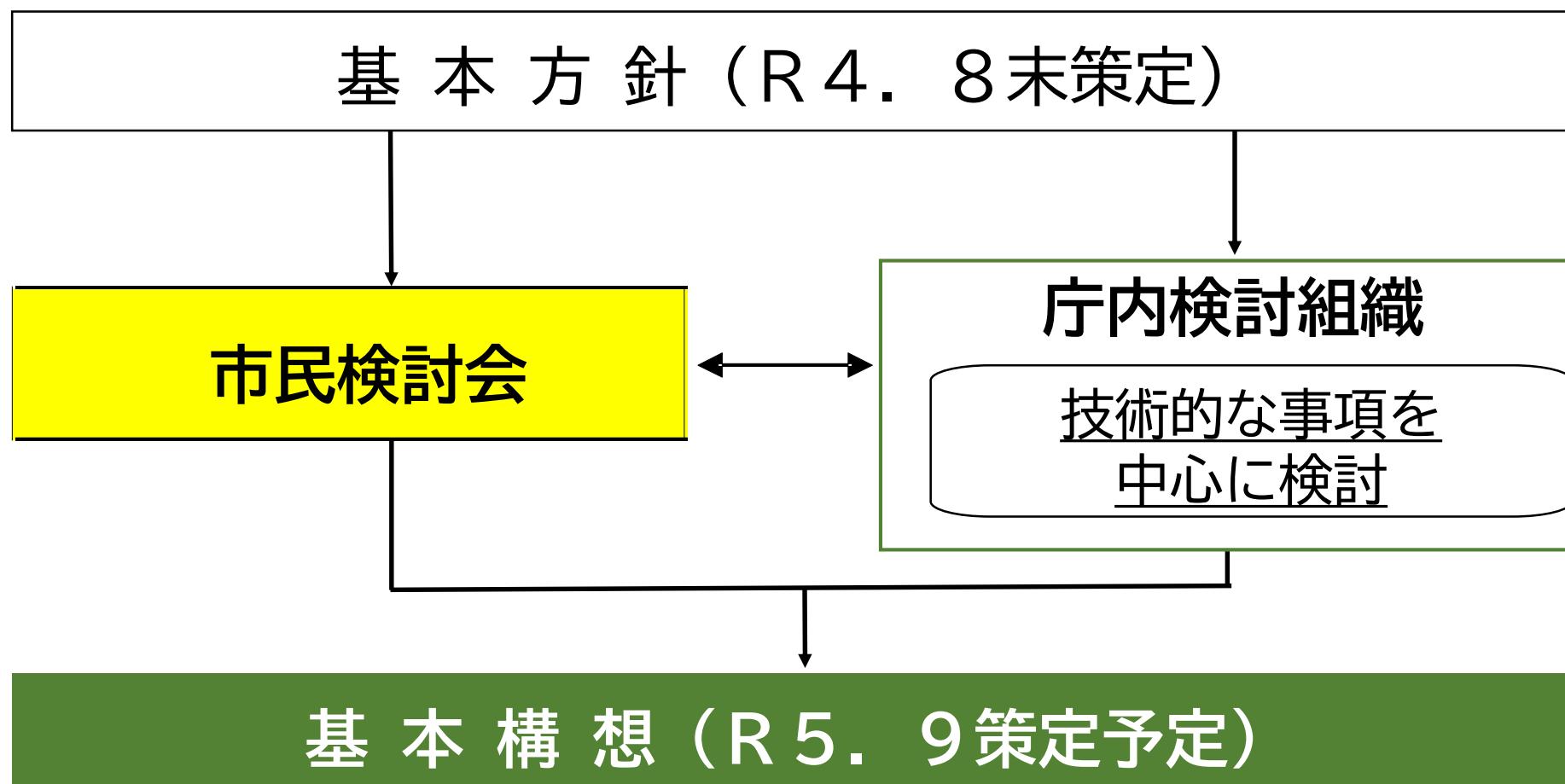


市民検討会の目的と狙い、 スケジュール

基本構想を策定します

- 令和4年8月に策定した「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本方針」を踏まえ、総合事務所を中心とした新たな公共施設の具体的な設置場所や導入機能等を定める「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本構想」を策定します。
- 基本構想の策定に当たっては、有識者、地域団体推薦者、公募市民等で構成する市民検討会を設置し、様々な方のご意見を伺いながら検討していきます。

【基本構想の検討体制】



市民検討会の構成

- 市民検討会では、様々なアイデアや意見を出していただくため、主にワークショップ形式で行います。
- ファシリテーターは、市民検討会の構成委員でもある芝浦工業大学の志村教授にお願いし、芝浦工業大学地域デザイン研究室の学生のみなさんや市職員が運営をサポートしながら進めていきます。
- 有識者である志村教授と朝日教授から、検討に対するアドバイスや助言をいただきながら、市民検討会における議論を活性化していきます。

○市民検討会委員の構成

有識者 (2名)	芝浦工業大学 志村教授 (建築・まちづくり) 東京都立大学 朝日教授 (都市経営・都市政策)
関係団体からの 推薦者 (13名)	まちづくり会議 (2)、自治会連合会 (2)、 津久井商工会、津久井青年会議所、 地区社会福祉協議会、津久井地区老人クラブ連合会、 PTA連絡協議会津久井ブロック、 津久井高等学校 (3)、津久井中央公民館運営協議会
公募市民 (4名)	公募市民



※事務局：緑区役所区政策課、津久井まちづくりセンター、アセットマネジメント推進課
 運営支援：ファインコラボレート研究所

市民検討会全体のスケジュール

令和4年度

令和5年度

第1回
(9/3)

第2回
(10/15)

第3回
(11/12)

第4回
(12/10)

第5回
(2/18)

第6回
(R5.5)

【テーマ】
目標を共有しよう

【テーマ】
総合事務所の場
所を考えよう

【テーマ】
導入機能を考え
よう①

【テーマ】
導入機能を考え
よう②

【テーマ】
総合事務所をか
たちにしよう

【テーマ】
基本構想案を確
認しよう

各回のワーク内容のイメージ

- ・これまでの取組や市民検討会の目的を共有する
- ・昨年度の取組を聞き、新しい施設をどんな場にしたいかイメージする

- ・市から候補地（複数パターン）の説明を聞き、良いところと課題を考える
- ・どの場所が良いかを考える

- ・基本方針の5つの視点※を基に、どのような機能が必要かを考える
- ・機能同士のつながりや、活動イメージを膨らませる
- ・考えた機能を敷地（建物）に落とし込んでみる

- ・第4回までに考えたことを具体的なかたちにする
- ・実現に向け、整備コンセプトや未来像を考える

- ・ワークショップでの議論や成果を基に、市がまとめた基本構想案を確認する

※ 「1. 津久井の魅力に触れ、賑わいの生まれる場所」 「2. 安全・安心」 「3. コンパクトで便利な窓口」
「4. みんなにやさしい場所」 「5. 津久井の自然・環境との共生」

※新型コロナウイルス感染症の状況等により、スケジュール・内容は変更となる場合があります。

ワークショップを進める上での4つのお願い

① 人の意見を否定しない

お互いに出した意見を尊重しましょう。

② 積極的に発言し、できるだけ多くの意見を出そう

自由なアイデアや発想が大切。何を言ってもOKなので、質より量で、多くの可能性を考えましょう。

③ 自分ごとで考えよう

自分が経営者や利用者になったつもりで、将来のまちの姿を想像し、自分だったらどうするか（どうしたいか）を考えましょう。

④ 何よりワークショップを楽しみましょう！

みんなの意見を組み合わせ、発展させることで、楽しみながら自分達の未来を描きましょう。

「でも」、「だって」よりも、
「そうだよね」、「素晴らしい」をい
えるワークを目指しましょう！



次回（第2回）市民検討会のお知らせ

開催日：令和4年10月15日（土）

時間：午後2時00分から午後4時30分まで

場所：津久井総合事務所3階 会議室1・2

第2回テーマ

総合事務所を中心とした施設の場所を考えよう！

- まちづくりや施設の特性などから、候補地を考える
- 候補地における敷地の使い方を考える

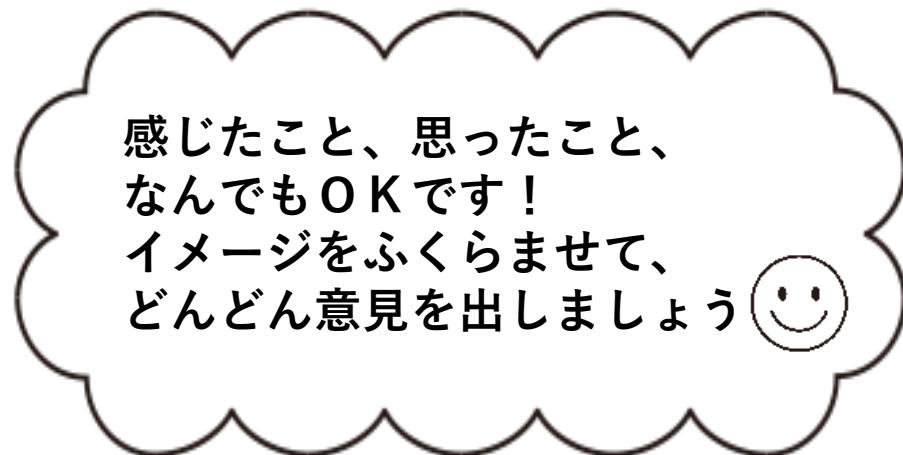
※開催1週間前までに、開催通知を送付しますので、通知内容をご確認下さい。

〈グループワーク〉

新しい施設をイメージしてみよう！

グループワーク ～新しい施設をイメージしてみよう！～

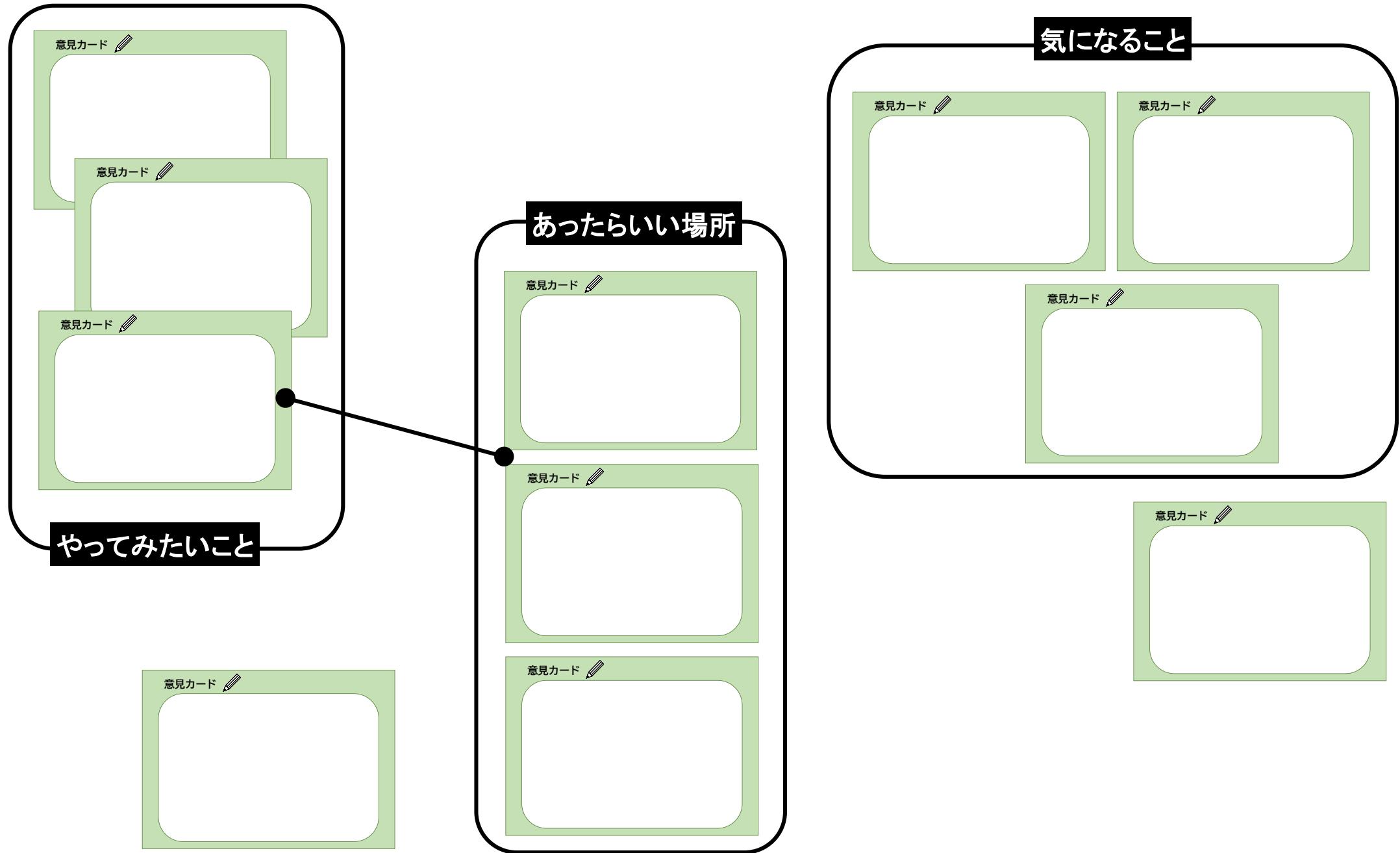
1. 昨年度の成果発表、大学からの発表を参考に、新しい施設で「あったらいい場所・もの」「やってみたいこと」「気になること」など、自由に意見カードに記入しましょう。
2. グループで意見カードを発表しながら、模造紙に整理してみましょう。
3. 話し合った結果を発表しましょう。※あらかじめ発表者を決めておく。



意見カード 

模造紙の使い方イメージ

昨年度の成果や大学からの発表を参考にして、新しい施設をイメージしてみよう！



※ サブファシリテーターが中心となって、似ている意見やカテゴリーでグルーピングしてタイトルをつけたり、関連する意見を線をつなぐなど、グループで出た意見を整理します。